

役員・経営幹部向け実践コース／定員40名・事前課題・演習あり

経営・マネジメント

【戦略財務】資本コストを 意識した価値創造経営の実践

役員戦略投資意思決定に必要な財務関連知識を習得する

セミナーのねらい

上場企業が守るべき行動規範を示したコーポレートガバナンス・コードでは、「資本コストを意識した経営の実践」、すなわち、収益力や資本効率の目標をわかりやすく示した事業戦略の提示とその実行が企業に求められています。

このような経営環境の下では、自社の事業価値創造に貢献するための基本的な財務知識を習得し、これを個々の事業戦略の検討や経営判断のなかで活かしていくことは、CEO（最高経営責任者）、CFO（最高財務責任者）のみならず、各事業を担う全ての役員に求められるようになっていきます。

この講座では、中長期の事業成長を大きく左右する設備や事業への投資（戦略投資）における意思決定の場面において、役員が必ず知っておくべき財務関連知識について、M&Aアドバイザーや財務コンサルティングの実務経験豊富な専門家が、基本的な知識から最新の実務動向まで、ポイントを絞ってわかりやすく解説します。

この講座において財務の基礎知識を確認し、事業投資採算に関するケーススタディーのシミュレーション演習を体験することで、戦略投資関連議案を意思決定していく際、必ず押さえておくべきチェックポイントが理解できます。

会社役員・経営幹部向けシリーズ『経営意思決定に必要な会計・財務知識』や、『事業経営に必要な会計財務数値の読み方と活用法』の内容を理解している方向けのステップアップ講座としてご活用ください。

【この講座で学べること】

- ◇投資採算判断など資本コストを意識した経営の実践に必要な知識が身につきます
- ◇売上、キャッシュフローを増やすバリュードライバーが何かつかめます
- ◇戦略的な投資意思決定時に必要な財務関連知識と検討の勘所が理解できます

※本講座は事前課題がございます。

夏目 岳彦 氏

ミネルヴァインサイト合同会社代表
公認会計士



1998年青山監査法人（現PwCあらた監査法人）入所。会計監査業務の他、関連財務コンサルティング会社にてM&Aのための財務デューデリジェンス、企業価値評価、IPO支援業務等を担当。2000年日本証券業協会店頭登録審査部に出向、新規上場会社の上場審査業務を担当。07年有限責任監査法人トーマツ入所、金融事業部、アドバイザー事業部に在籍。M&Aの事業・財務デューデリジェンス業務や企業価値評価業務、PMI支援業務、事業再生計画策定・支援業務等のコンサルティング業務に従事。金融機関、上場企業等に対し会計・財務・問題解決力・提案営業力強化に関連した各種人材育成プログラムの企画立案、講師を担当し、「現場実務の第一線の知見を研修プログラム化して伝える」活動に精力的に取り組む。15年8月有限責任監査法人トーマツのパートナーを退任し、ミネルヴァインサイト合同会社を設立、代表就任。事業承継やM&A関連サービスの他、多くの上場企業、金融機関においてカスタマイズ型の人材育成プログラムを企画・提供している。一橋大学大学院国際企業戦略研究科金融戦略・経営財務コース修了（MBA in Finance）。

プログラム

- 戦略財務の考え方：「損益の改善」から「事業価値創造」へ
- 役員が理解すべきキャッシュフロー創出のための事業計画上の財務KPI
- 役員に必要な投資採算分析の基礎知識
- 【演習】事業投資の採算分析～ポイントを体験的に理解する
- 事業投資実行における意思決定者のチェックポイント
- まとめ

日時

2019年12月16日（月）
10:00～17:00

会場

御茶ノ水
トライエッジカンファレンス

受講料

77,000円（税込み）

対象者

経営者、経営幹部、執行役員

レベル

基礎

WEB検索番号：P1901874